

NICUの必要病床数について

- 平成6年のNICU必要数は
約2床/出生1,000（厚生省心身障害研究、分担研究者；多田裕）
- 平成17年現在のNICU整備数は
2,341床（医療施設調査）あるいは2,032床（診療報酬届出数）
- 平成19年度厚労科学研究でのNICU必要数は
約3床/出生1,000（約3,000床、平成6年に比較して約50%増加）
不足しているNICU病床の総数 700床～1000床
うち早急に整備すべき病床 200床～500床

出典)厚生労働科学研究「周産期母子医療センターネットワーク」による
医療の質の評価とフォローアップ・介入による改善・向上に関する研究



「周産期医療と救急医療の確保と連携に関する懇談会」

都道府県は、出生1万人対25～30床を当面の目標とし、地域の
実情に応じたNICUの整備を進める。

新生児搬送（迎え搬送の場合）

産科医院

・分娩立ち会い、仮死の蘇生、挿管などの処置



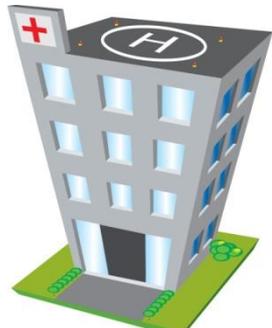
三角搬送



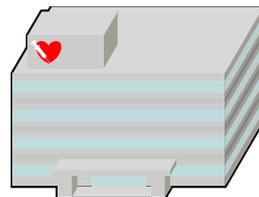
新生児搬送



医師、看護師
が同乗



地域周産期母子医療センター
NICUを有する病院



総合周産期母子医療センター

【新生児搬送理由】

低出生体重、仮死、呼吸障害、
チアノーゼ、嘔吐など

【新生児搬送中の処置】

気管挿管、点滴確保、薬剤
投与、心臓マッサージ
保温・清潔操作（このためにも保
育器は必須）
光線療法、血糖等の検査 等

長期入院児の転帰

長期入院児*の年間発生数:
約220例(約2.2例/出生1万人)

(参考)年間NICU入院 約36,000例

*12ヶ月以上のNICU入院児を長期入院児とした

死亡退院:約15%

自宅退院:約30%

約55%(約120名)の症例に対し、受入れ施設あるいは在宅支援体制を整える必要がある。